

terra小屋と
阿波図書館の
協働のまちづくり

2026. 1. 19 阿波市阿波町支所2F



次第

- 1 会長あいさつ
- 2 阿波町時代のまちづくり構想について
- 3 terra小屋の活動とあわむすびでの
事業報告
- 4 阿波図書館、あおぞら所長より一言
- 5 会員より一言
- 6 市長より
- 7 会終了、その他

terra小屋について

「地球規模でよりよい生活を提唱する」ことを基本理念におき、
環境や食育、に特化した自由な教育機関をの創設を目指した活動を行っています
→2020年までは、主に大人に向けて発信していたが、それ以降は子供、親子を中心に活動をしている。

terra小屋活動

農・環境に特化した教育を子供たちに
(目的は子供を取り巻く食事改善、子供の未来へつなぐ環境づくり)

- 教育・農・環境をリンクさせた活動にし、阿波市の強みを生かした子育てを提唱していく
- 自由な教育の場を整えていく
- 空き家活用
 などなど...

子どもたちの未来をよりよいものに。
これからも活動していきます。



あわむすびを活用した 協同のまちづくり活動 の報告

・協働のきっかけ

あわむすびはかつて阿波町役場があり、農村改善センター、阿波図書館と複合的な場所で、納涼祭・文化祭・JAの催しもの、夢想祭などで年間を通して賑わっていた。

→ ①今も複合施設ではあるが、連携したイベントがあまりなく、相互集客ができていない状態なので、あわむすびとして連携したイベントを企画したかった。

→ ②特に教育現場での課題解決にも取り組んでみたかったため、図書館と組ませていただいた。

1年目

- 障害のある子への食事改善支援講演会（2日間）
- あわむすび祭りの開催
- 県の不登校対策「#学校無理でもここあるよ」の活動に参加
- 神山もフリースクール「みっけ」より講師をお呼びし、講演会&対話の会の開催
- こどもとお母さんのケアを目的とした講演会の実施
- 交流センターを活用したボードゲームの会を開催

などなど、
大小様々な活動を行った

2年目

- あわむすび祭り 2年目の開催
- 戦争のお話を開催→図書館にも特集してもらう
- 折り紙教室の開催→戦争についての読み聞かせとピアノ演奏のコラボで、イベントで折った折り鶴を飾ってもらう
- 夏休み中のボードゲーム会開催
- クリスマスのキラキライルミネーション開催
- お笑いと絵本で人権を考える会の開催

- 今後→1月31日 健康ダンスイベントZUMBAの開催
2月中
学生留学支援「トビ立てJAPAN」の説明会開催予定

成果と課題

• 成果

- →①むすび祭りは場所もよく、出演者・来場者とも高評価だった。（開催時期は要件等）
- ②むすび祭りで知り合った方々が、後日連携が取れて新しい企画が生まれたことが多々あり、横のつながりが広がった。
- ③ステージでの経験に、出演した親子から多大なうれしい評価をいただいた。
- ④普段阿波市であまり聞けない講演会の開催に、とても喜んでいただけた。また、知らなかった方から、活動のことや講演の趣旨を知ってもらうことができた。
- ⑤図書館視聴覚室での開催は、図書館利用者の方がふらっと寄ってくれることが多々あり、連携による交流人口を感じることができた。

• 課題

- →1年目は子供とお母さん向けのイベントをメインで開催したが、場所が図書館の視聴覚室だったため、会場と図書スペースの行き来が激しく、図書館利用者の方に少し迷惑をかけた。
- 不登校支援などは、さらに学校との連携が必要と感じた（周知が弱い）
- 駐車場でのマルシェ開催や、土日の食のイベントなど、常にひとが集まるイベントを開催させてほしい（キッチンカーや屋台野呼ぶなど）